

# 「川と人・地域のつながり」に関するアンケート調査の集計結果

調査時期:平成 21年8月

対象者:県政モニター

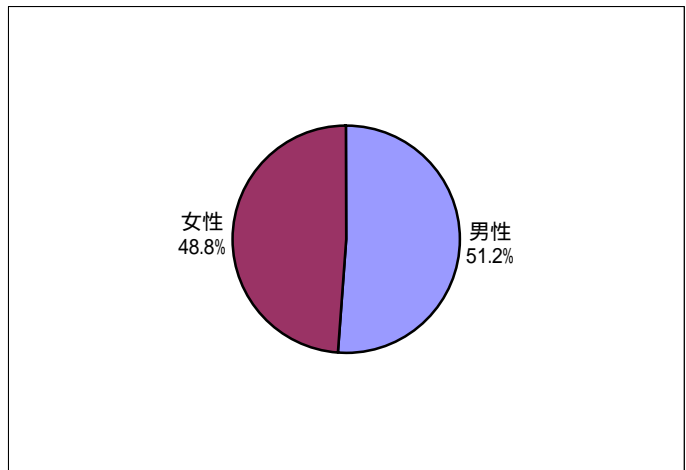
回答数:125人(回収率63.8%)

担当課:河港課

調査目的:県では平成20年度より「ふるさとの川づくり協働事業」を進めています。この事業は、地域が行う河川の維持管理活動を助成する河川愛護活動事業、地域の河川愛護活動を支援するために施設整備等を行う地域活動支援、河川パトロールや県・市町との情報交換を地域の方に行ってもらう河川管理パートナー制度からなるものです。この事業を推進することにより、地域の皆さんが地域の川を愛し、行政と共に手を取り合って「ふるさとの川」として 守り育てていただきたいと考えています。このような行政支援のさらなる充実を検討していくために、川と人・地域とのつながりについてアンケートを実施しました。

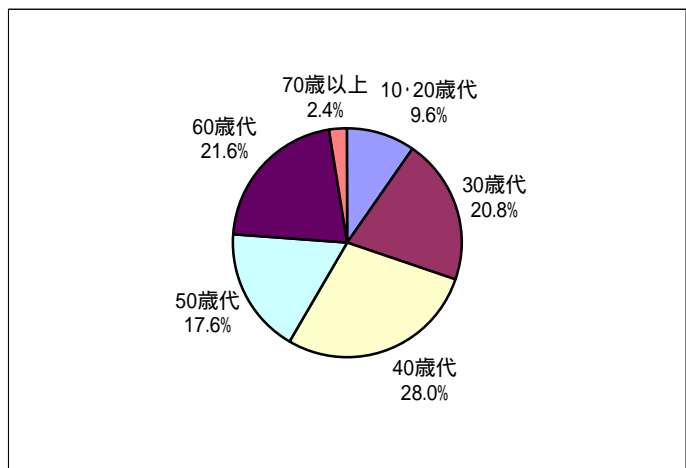
問1 あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
1 男性	64	51.2%
2 女性	61	48.8%
合計	125	100.0%



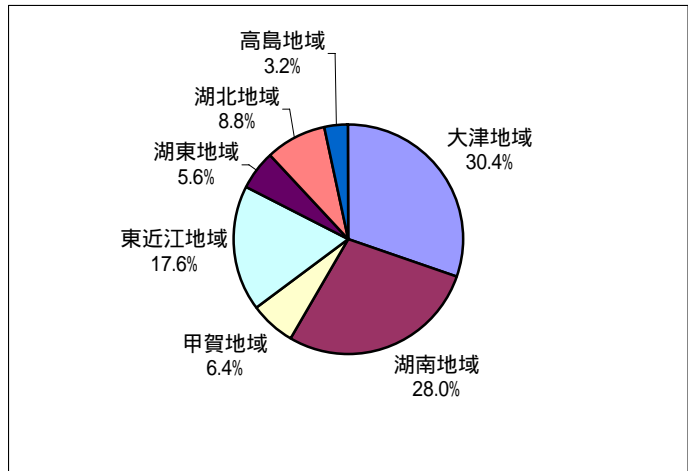
問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
1 10・20歳代	12	9.6%
2 30歳代	26	20.8%
3 40歳代	35	28.0%
4 50歳代	22	17.6%
5 60歳代	27	21.6%
6 70歳以上	3	2.4%
合計	125	100.0%



問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
1 大津地域	38	30.4%
2 湖南地域	35	28.0%
3 甲賀地域	8	6.4%
4 東近江地域	22	17.6%
5 湖東地域	7	5.6%
6 湖北地域	11	8.8%
7 高島地域	4	3.2%
合計	125	100.0%

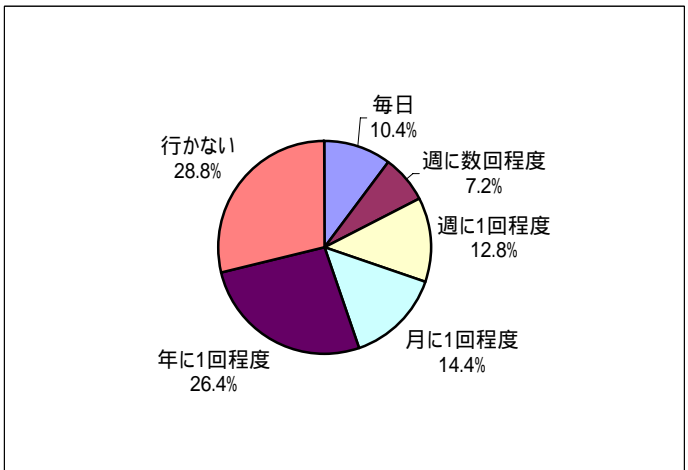


あなたと川のつながりについてお聞きします。

問4 あなたはお住まいの近くの川にどの程度の頻度で行かれますか。

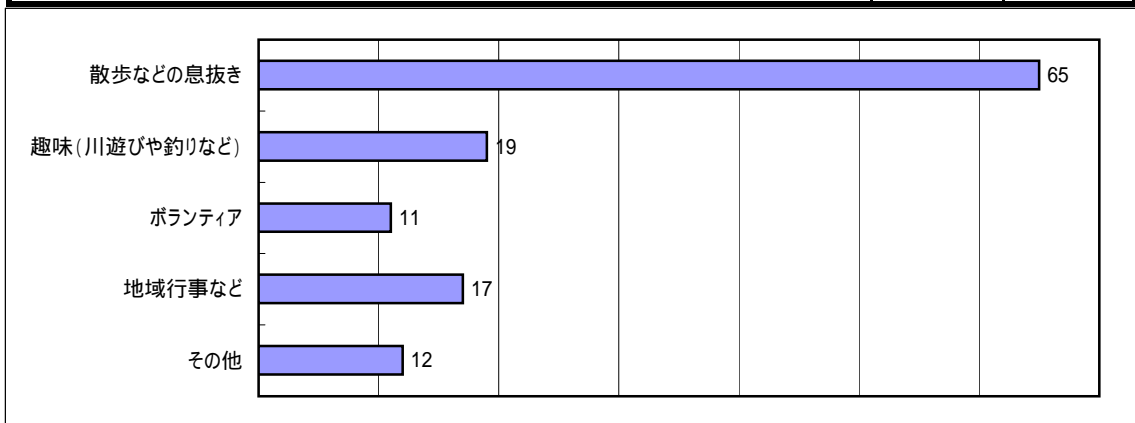
( は1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1 毎日	13	10.4%
2 週に数回程度	9	7.2%
3 週に1回程度	16	12.8%
4 月に1回程度	18	14.4%
5 年に1回程度	33	26.4%
6 行かない	36	28.8%
合計	125	100.0%



問5 問4で「1～5」と回答された方(89人)にお聞きます。あなたが近くの川に行かれる目的としてどのようなものがありますか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1 散歩などの息抜き	65	73.0%
2 趣味(川遊びや釣りなど)	19	21.3%
3 ボランティア	11	12.4%
4 地域行事など	17	19.1%
5 その他	12	13.5%
合計	124	139.3%

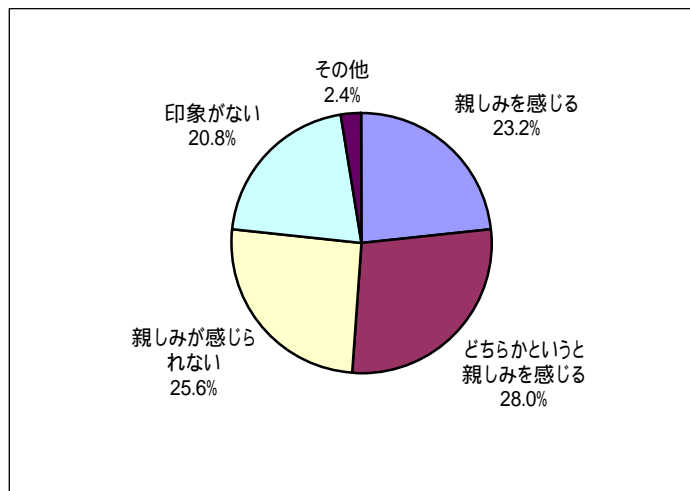


その他意見

- ・通勤、ジョギング、犬の散歩などの通り道
- ・環境問題として気になるため、川を見に行く
- ・家の前にあるため
- ・掃除
- ・ドライブ

問6 あなたはお住まいの近くの川を「ふるさとの川」として親しみを感じていますか。(は1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1 親しみを感じる	29	23.2%
2 どちらかという 親しみを感じる	35	28.0%
3 親しみが感じら れない	32	25.6%
4 印象がない	26	20.8%
5 その他	3	2.4%
合計	125	100.0%

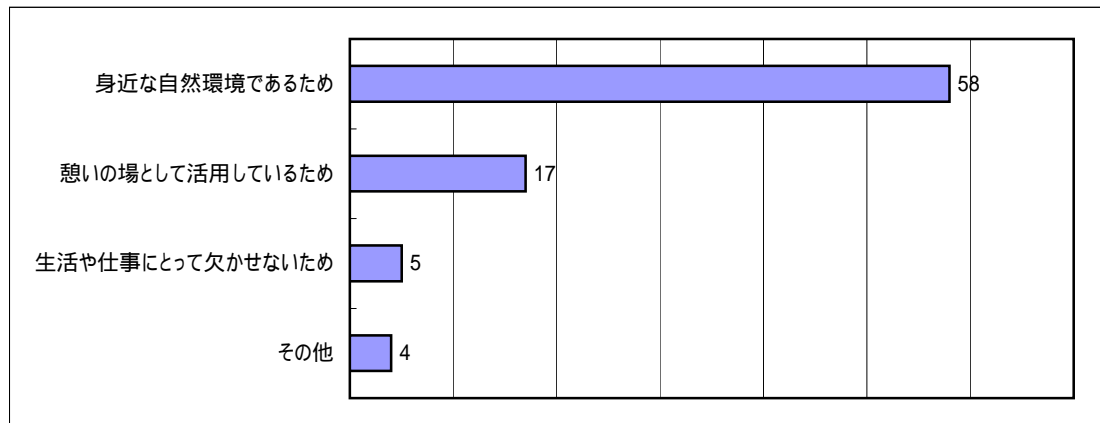


その他意見

- ・生活の一部
- ・散歩圏内に河川がないのでピンとこない

問7 問6で「1または2」と回答された方(64名)にお聞きます。「ふるさとの川」として親しみを感じられる理由を教えてください。( はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1 身近な自然環境であるため	58	90.6%
2 憩いの場として活用しているため	17	26.6%
3 生活や仕事にとって欠かせないため	5	7.8%
4 その他	4	6.3%
合計	84	131.3%

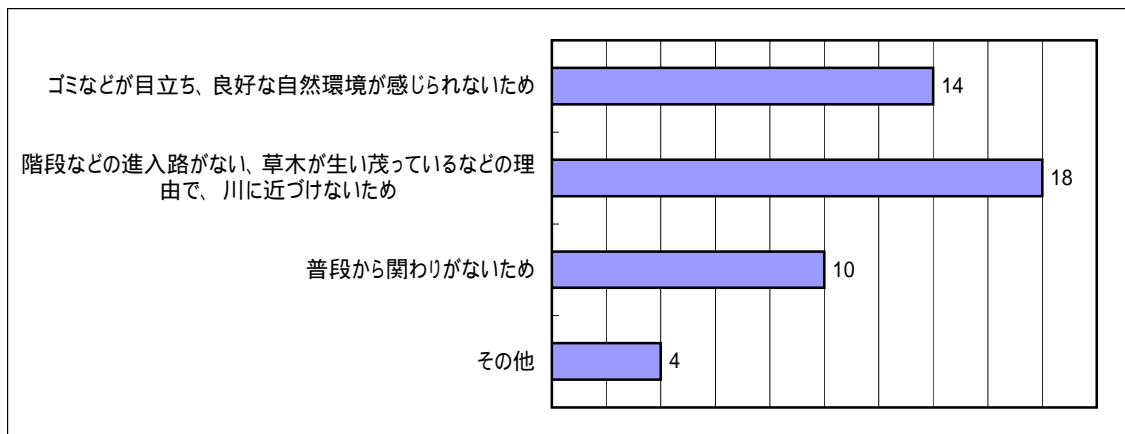


その他意見

- ・川の音を聞いていると落ち着きます
- ・景色などが人の癒しに大切だから(特に川)
- ・車などでよく近くを通るので
- ・数百メートルにわたる桜並木があり、毎年美しい花を咲かせる。
- ・そこに生き物が息づいていると感じられるから

問8 問6で「3」と回答された方(32名)にお聞きします。「ふるさとの川」として親しみを感じられない理由を教えてください。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1 ゴミなどが目立ち、良好な自然環境を感じられないため	14	43.8%
2 階段などの進入路がない、草木が生い茂っているなどの理由で、川に近づけないため	18	56.3%
3 普段から関わりがないため	10	31.3%
4 その他	4	12.5%
合計	46	143.8%



#### その他意見

・入漁券を持っており釣りに行くのですが、雑草も伸び放題のため行く時はかなりの覚悟をしております。一番の問題は生い茂っている草木です。釣りをしなければ近づく気にはなりません。

・リフレッシュできない

・常に人の気配が感じられず不法投棄場所が多いこと。

・ゴミはそんなに目立たないのだが、汚水？が混入していて汚い。

・水がない、石が多くなり危険になった

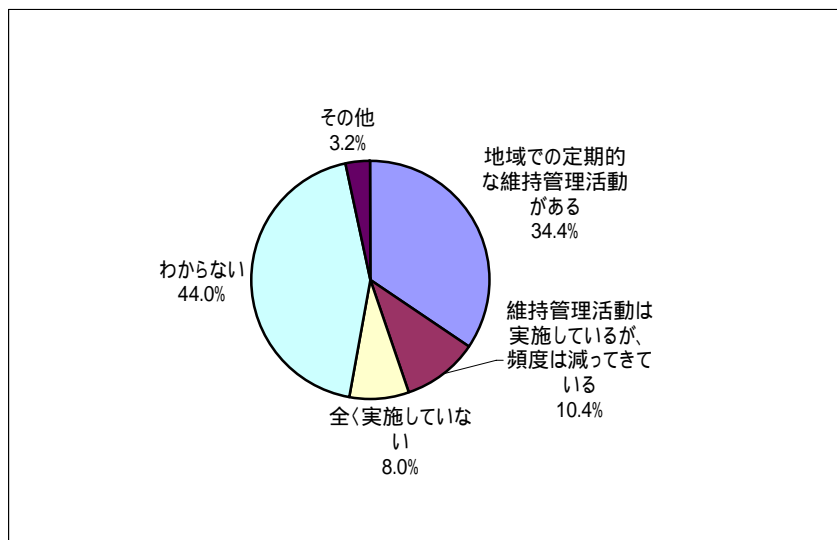
・家のすぐ近くにある為か当たり前になっていて何も感じない。地元を離れると感じるのかも？

## 地域と川のつながりについて

問9 あなたの地域での川の維持管理活動の現状はどのようなものですか。

( は1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1 地域での定期的な維持管理活動がある	43	34.4%
2 維持管理活動は実施しているが、頻度は減ってきている	13	10.4%
3 全く実施していない	10	8.0%
4 わからない	55	44.0%
5 その他	4	3.2%
合計	125	100.0%



### その他意見

・年1回の堤防の除草に半強制的に駆り出されますが、住民と河川のかかわりも少なく愛着も薄い(私はそう思うのですが)のに住民を活用するのはいかがなものかと思えます。

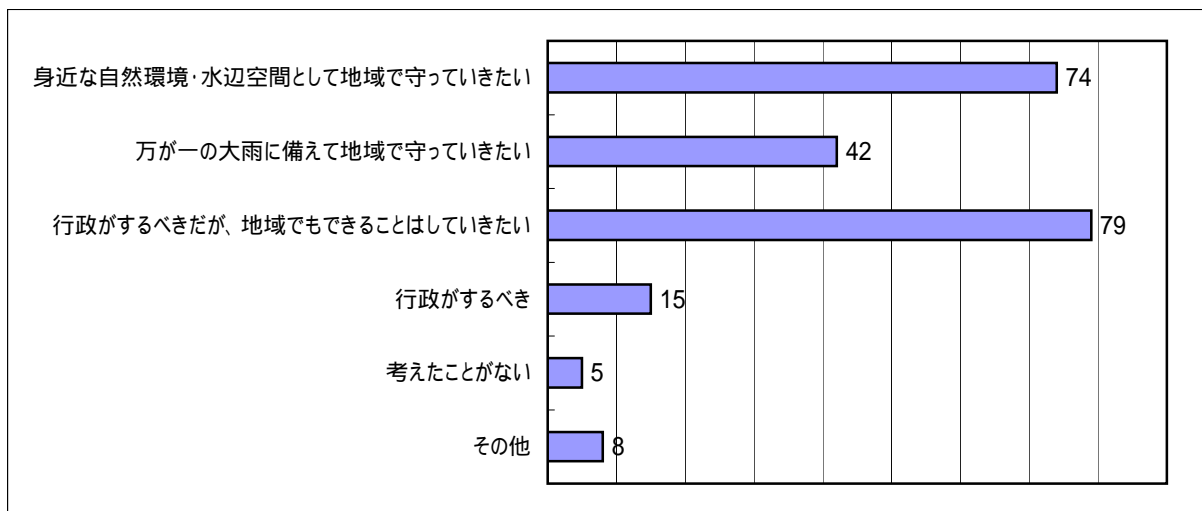
・除草はされているようだが、地域なのか行政なのかわからない

・河川清掃は年一回町内で実施されるが河川というよりは用水路のようなもの

問10 地域で川の維持管理活動を行うことに対してどのように思われますか。

( はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1 身近な自然環境・水辺空間として地域で守っていききたい	74	59.2%
2 万が一の大雨に備えて地域で守っていききたい	42	33.6%
3 行政がするべきだが、地域でもできることはしていききたい	79	63.2%
4 行政がするべき	15	12.0%
5 考えたことがない	5	4.0%
6 その他	8	6.4%
合計	223	178.4%

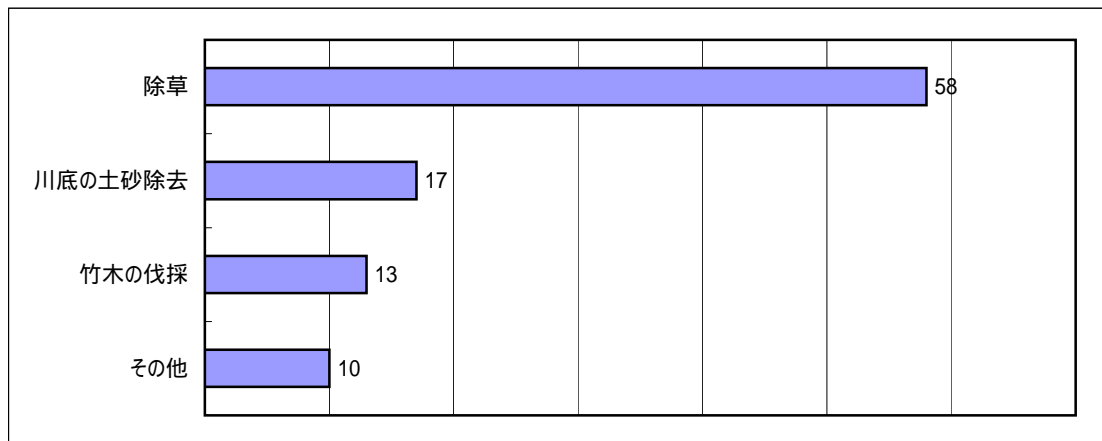


その他意見

- ・主に行政が環境全体を把握し、河川の基本管理体制を作ったうえで地域として維持管理の手助けをすることが当然と思う。
- ・地域で守っていく為、課税の減免などを考えていただきたい
- ・住居の近辺に川と呼べるようなものがないため、答えにくい。
- ・地域では除草とごみ拾いをしている。清掃の一貫と思っており、維持管理とまでは意識していなかった。
- ・日常の維持管理は地域が行い、経費のかかるものは県が行うなど役割分担が必要。
- ・近くに河川があれば地域で守っていききたい

問11 問9で「1～3」と回答された方(66人)にお聞きます。地域で取り組んでもいいと思われる川の維持管理活動はありますか。(はい/いいえ/どちらでもない/その他)

項目	人数(人)	割合(%)
1 除草	58	87.9%
2 川底の土砂除去	17	25.8%
3 竹木の伐採	13	19.7%
4 その他	10	15.2%
未回答	2	3.0%
合計	100	151.5%



#### その他意見

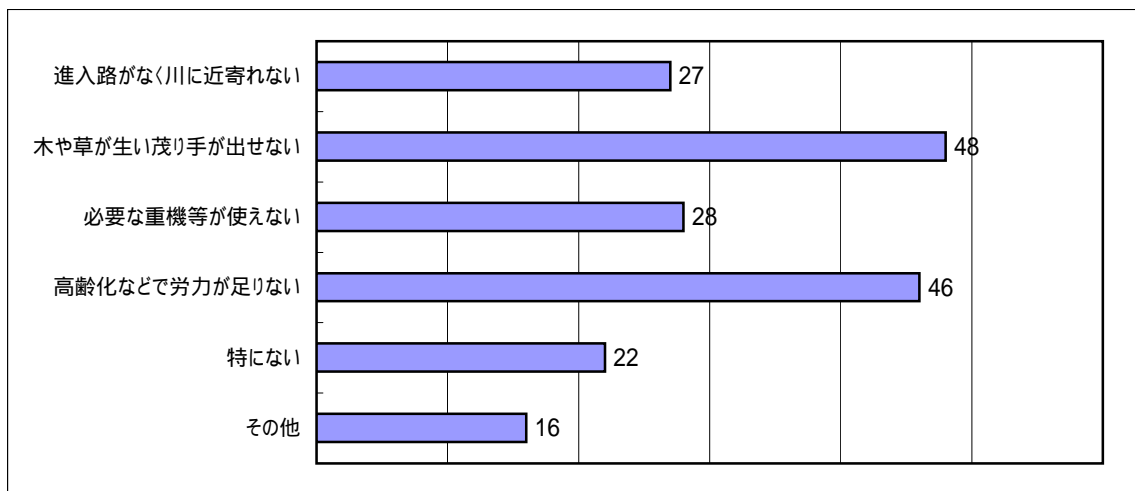
- ・川周辺に落ちているゴミ、枯れ草等の清掃作業。
- ・河川敷きのゴミの撤去
- ・魚の放流



問12 地域で川の維持管理活動を行うにあたり、妨げとなっていることがあれば教えてください。

( はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1 進入路がなく川に近寄れない	27	40.9%
2 木や草が生い茂り手が出せない	48	72.7%
3 必要な重機等が使えない	28	42.4%
4 高齢化などで労力が足りない	46	69.7%
5 特にない	22	33.3%
6 その他	16	24.2%
合計	187	283.3%

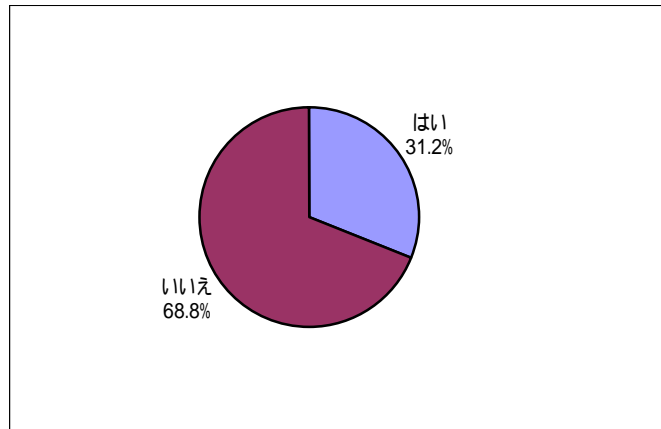


#### その他意見

- ・行政の実施している事項を知らないため税金を払っているのに地域に維持活動を押し付けられているという被害者意識を持つ。
- ・琵琶湖一斉清掃の時も何もされていないので、ここは行政がかかっているのだと思っていました。
- ・補助枠も一人当たりパン・牛乳程度の予算では義務的意識しか働かない
- ・地域の川の維持管理活動がどのように行われているか知らない
- ・活動に参加する機会がわからない。
- ・リーダー・コンセプトを持った方が不在(熱意のある方)
- ・年寄りがかんばりすぎて若い人のはいる余地がない
- ・大事に思う川がない
- ・護岸が急傾斜のコンクリートのため、川床の維持管理には手が出せない。
- ・ゴミや木の伐採処分ができない
- ・不法投棄ゴミの処理。住民に対して広すぎる管理すべき面積。
- ・今のところ大丈夫だと思いますがいずれ高齢化になり労力がたりないようになるのではないかと思います

問13 県では地域で川の維持管理活動に対して行政支援をしていますが、あなたはそのことについて  
ご存じですか。

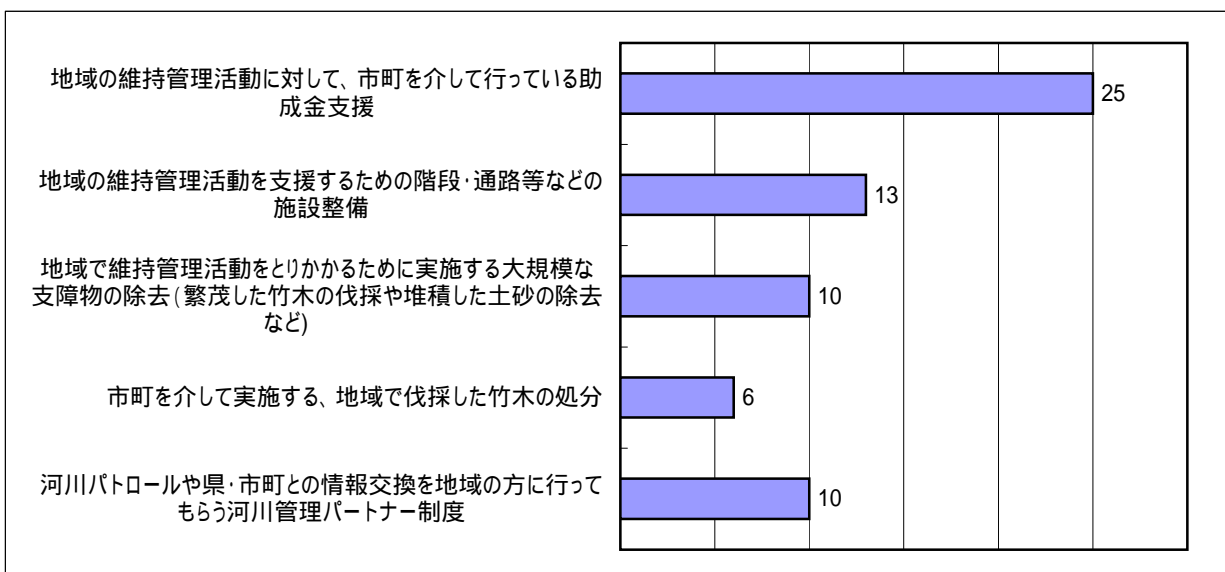
項目	人数(人)	割合(%)
1 はい	39	31.2%
2 いいえ	86	68.8%
合計	125	100.0%



問14 問13で、「はい」と回答された方(39名)にお聞きます。県が行っている行政支援について、  
あなたが知っておられるものは次のどれですか。

( はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1 地域の維持管理活動に対して、市町を介して行っている助成金支援	25	28.1%
2 地域の維持管理活動を支援するための階段・通路等などの施設整備	13	14.6%
3 地域で維持管理活動をとりにかかるために実施する大規模な支障物の除去(繁茂した竹木の伐採や堆積した土砂の除去など)	10	11.2%
4 市町を介して実施する、地域で伐採した竹木の処分	6	6.7%
5 河川パトロールや県・市町との情報交換を地域の方に行ってもらう河川管理パートナー制度	10	11.2%
合計	64	71.9%



川と人・地域とのつながりについて、行政と地域の関わり方についてどのような形が望ましいか、ご意見があればお書き下さい。

### 広報・啓発が足りない

- ・地域での川とのかかわりが強い所はしっかりと保全・保安がされている。この状況をもっと積極的に公表して、他の自治会にもアピールする事が大切である。
- ・生活排水などが流れ込んでいる地域では、川の大切さが浸透していないため単なる排水としての物でしかないととらわれているのではないのでしょうか。もっと、川の大切さを広く唱えていくべきだと思う。
- ・行政が催し物など楽しいイベントなどを兼ねて地域の方などに清掃などに参加してもらう機会を作っていただきたいと思います。
- ・地域の自然環境は、住民の協力がなければ万全を期すことは出来ないから、行政も積極的に啓蒙、周知に取り組むべき。
- ・川掃除等、地域の行事事に関心を持たない人が多くなってきている。もっと、県、行政がアナウンスしていくべきだと思います。
- ・地域の川や自然の管理のためにできることに参加していきたい。ただ何をいつしていいのかが分からない。
- ・地域でも年二回の県下一斉清掃日には川の除草や土砂の除去作業を行っており、私自身も川や水には大変関心があります。でも、県や市が川とどのように関わっているのか、今ひとつ知らないのは私だけではないと思います。
- ・昔は夏に泳いだりしていた身近な川が今は、草もうっそうとしていて近づくのも怖い雰囲気。地域の定年された元気なお年寄りなど活動されてるかたもたくさんいるので、情報を広めることをもっとしたら良いと思う。

### 行政と地域の協働

- ・川の土手が人工化されて水辺の自然が感じられません。川原の自然が残るような努力をしていくために、行政だけでなく地域住民の出来ることを検討すべきだと思います。
- ・川に対する地域の人々の思いを発掘し、それを行政と連絡調整しながら何らかの形にしていくコーディネータを育成することが望ましいと思います。
- ・親しみのもてる景観維持によってやすらぎの場所となるように思います。そのためにも地域の自治会のマンパワーを利用すべく、積極的に助成していくべきだと思います。
- ・川は本来は地域で維持管理すべきだと思います。しかし現状は地域の高齢化がすすみ難しいですね。
- ・地域住民にとって身近な川は、共同で除草や清掃作業を対象として管理維持を定期的に行うべきだ。そのためには進入路の確保など行政の協力が必要だ。
- ・今のままの草木が茂り汚いままの状態を何時までも放置はできない。行政が支援をしているというが全くどのようになって仕組みとして動いているのかは見えません。行政が環境を整え、地域が維持管理をするような組織体の強化をすべき。
- ・国や県まかせで住民が入り込む隙間がなかったり、どのように進めればいいのかの議論が先にたち、地域の有志が清掃していたりします。なにか県民全体で進めることができないでしょうか？

- ・古くから持ち家があり、地域に愛着のある家のヒトは年寄りでも若くても地域活動に参加し、清掃活動にも積極的である。しかしアパートなどを借りて住んでいたり社宅にいるヒトは地域の集まりに参加せず、自治会にもはまらない。そういう人に地域や環境維持活動に参加してもらうのは大変むずかしい。行政から新住民に働きかけて橋渡しをしていただきたい。
- ・川の維持管理は、地域住民を巻き込むことで身近な問題の提起や解決方法を見出すことがある。ぜひ地域での活動を進めてほしい。次代を担う子供たちが、その活動を見て心に焼きつけ、地域に愛着を持つきっかけとなることを願うから。
- ・行政で実施すべきことは積極的に推進することは当然ですが、地域で実施すべきことは何なのかを明確にして、どんどん取り組まれるように仕向けていくことが必要です。
- ・人と地域、行政と地域が常に河川の本来のあり方について、もっと意見交換をし維持管理に努め、子どもが自由に遊べるような環境作りが必要と考えます。

### 維持管理は行政でやるべき

- ・川の管理には危険性があり、労働力を要します。地域愛という美名の元に、住民に負担しないで頂きたい。
- ・川のあり方、ビジョンを地域と行政が共有し同じベクトル方向の合意がまず必要であると思います。ただ基本的な維持管理については、管理責任者である行政の責務である。そのために税金を徴収しているのだから。
- ・河川敷の施設等は近隣の地域住民のみが使用するものではないので、地域住民のみに負担を強いるのは賛成できない。
- ・地域活動・ボランティア活動などの不確定要素の多いものを主体にした保全・管理体制では不安で、やはり行政が責任を持って定期的・計画的に点検・補修する体制を持っておく必要があるのではないかと。一方で散歩・水遊びなどの「癒し」面を維持管理していくことに地域活動・ボランティア活動が協力することはむしろ利用者の意識向上の面からも望ましいことだと考える。
- ・わずかばかりの補助金が出ているのは承知しているが、維持管理は労力の提供から、機械機器の提供、燃料費や消耗品の持ち出し、不法投棄ゴミの処理にいたるまで負担は大きく、金を出しているからそれで良いと割り切るのでないと思う。
- ・役場の人間が川を見に来てほしい。枯れ松の伐採も地域にまかせるのではなく役場がもっと動いてほしい。
- ・「しなければならぬこと」と「やりたい」事が明確に別けれれる仕組みがなければ、地域の間人は安心できないと思っている。維持管理については、河川管理者の目で現場を確認し、その結果から年度計画を立てられるのではないだろうか。

### 防災について

- ・先日の兵庫県での水害であらためて河川の恐ろしさを感じましたが、緊急時の対応や日頃の河川管理とはなかなか難しいものなのだろうとも感じました。危険度の大きい川や、増水に巻き込まれたときの対処方法など、県のホームページなどで公開していただければありがたいと思います。市街地では自治会などもほとんど機能していないところが多いので、地域での防災や河川管理といっても限界があるように思います。行政や地域が河川管理を円滑に進めるためには、市街地での自治会の機能を強化することがまず重要ではないでしょうか。

- ・川は意外に身近で、地域の人たちが一番見ていると思うし、勿論増水に対しての危機感も一番抱いているのは地域の人たちだから、まずは義務付けていくことで、守りもって親しめる川にしていける形がいいと思います。
- ・過去一度も川に関して行政と話し合いがあったことはありません。豪雨があったときを思うとその対策が聞きたいです。せめて一度くらいひざ詰めで話す機会があってもいいとおもいます。
- ・住民と一緒に河川づくりをしていくべきだと思います。住民が住み易く、災害にも対応した河川づくりが求められています。